

宮城県トラック協会長 殿

謹啓、朝寒の候 貴台におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素から秋の交通安全県民総ぐるみ運動をはじめ警察行政の各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、県内の交通死亡事故の発生状況は、10月2日現在、60件63人と死者数では前年同期比で17人の増加数であり、この数は全国一の増加数となっており、大変厳しい状況となっています。

このようなことから、県知事より「交通死亡事故多発緊急事態宣言」の発令期間が1か月延長されたところであります。

県民の生命を守る警察としては、交通指導取締りの強化とともに、濃密なレッド警戒活動等の街頭活動の強化を図っており、現に、交通死亡事故が多発している一定の国道につきましては、各警察署においてリレー方式による薄暮時の警戒を実施しているところではありますが、これから、日没が早まるとともに薄暮時間における農作業や買い物客等歩行者の乱横断等による交通事故の多発が懸念されます。

つきましては、貴協会におかれましても、各種安全活動を通じて、傘下の全事業所等に

- ライトの早め点灯（午後4時ライトオン）と原則ハイビームの励行
- ハンドルを握ったら運転に専念し、緊張感を持った安全運転とわき見運転の禁止の徹底
- ハンドルキーパー運動等事業所を挙げての飲酒運転根絶運動の徹底
- 交差点での安全確認の徹底と生活道路等での安全速度の励行

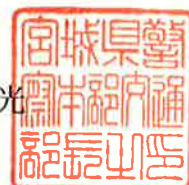
等の諸対策を周知徹底していただきますとともに、警察をはじめ関係機関・団体と緊密に連携して悲惨な交通死亡事故抑止に努めていただきますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

末筆ながら、貴協会のますますの御発展と、会員皆様方のご健勝、御多幸を祈念申し上げます。

敬具

平成25年10月3日

宮城県警察本部交通部長 長尾 徳光



担当：宮城県警察本部交通部交通企画課 交通安全企画官

電話：022（221）7171 内線 5021



# 交通死亡事故多発 緊急事態宣言

県内の交通死亡事故が多発し、8月26日に「交通死亡事故多発緊急事態」を宣言しました。しかし、宣言後も死亡事故の発生が続き、9月25日時点の交通事故死者数が63人（前年同期比+19人）となったことから、その宣言期間を延長して、交通事故防止対策を継続強化することとしました。

**宣言期間延長 平成25年9月26日(木)～10月25日(金)**

## 交通死亡事故多発緊急事態宣言

平成25年8月26日  
宮城県知事

今年の県内の交通死亡事故は、7月から8月にかけて連続的に発生し、8月25日現在の死者数は、前年同期比10人増加の50人となり、悲惨な交通事故に歯止めがかからない状況にあります。

特に、8月に入って車両同士の正面衝突事故が5件連続して発生するなど、緊張感を欠いた漫然運転が原因と思われる死亡事故が多発しており、極めて憂慮される事態となっております。

交通事故の防止は、県民一人一人が全力を挙げて恒常的に取り組まなければならない重要な課題です。

県は、尊い県民の命を交通事故の被害から守り、交通の安全を確保するため、8月26日(月)から9月25日(水)までの1か月間を「交通死亡事故多発緊急事態」として宣言します。

交通安全は、県民全ての願いです。

県民の皆様におかれましては、家庭や地域、職域等において、人命尊重を基本として、安全で快適な交通社会の実現のために、県民総ぐるみによる「交通ルールへの遵守」と「正しい交通マナーの実践」により、交通事故防止対策を積極的に推進されますようお願いいたします。

**宮城県・宮城県警察**

# 交通事故防止のアドバイス

例年、秋の夕暮れ時は交通事故が多発しています。

## 死亡事故の特徴

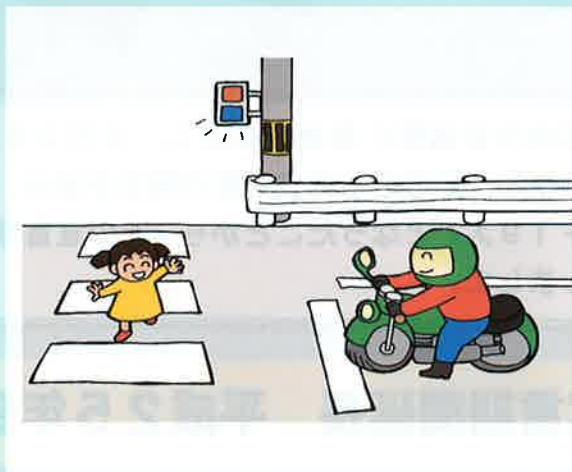
- 漫然運転など疲労や気の緩みからくる正面衝突事故が連続発生！
- シートベルト非着用による死亡事故が多発！
- 二輪車や高齢運転者の死亡事故が増加！

### ドライバーのみなさんへ



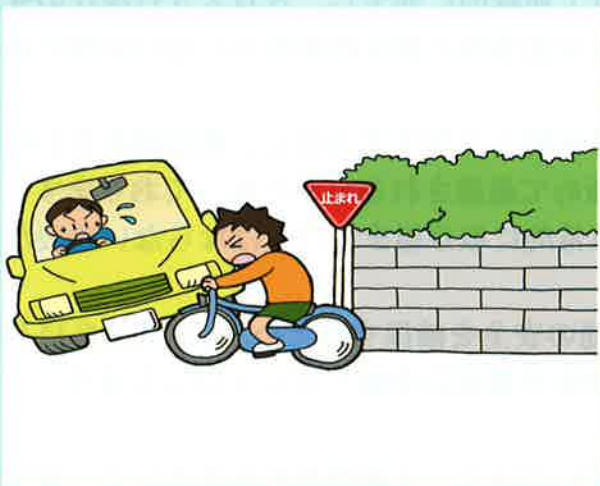
- 運転中は適度な緊張感を保持
- シートベルトは全席確実に装着
- 「午後4時ライトオン」で早め点灯

### オートバイに乗る方へ



- スピードを控えて安全運転
- ヘルメットの正しい着用、プロテクターや蛍光・反射ベストの装着の励行

### 自転車に乗る方へ



- 自転車は車両の仲間、正しいルールを守り安全に運転
- 大人も子どももヘルメット着用の励行

### 歩行者のみなさんへ



- 夕暮れ・夜間に外出する際の反射材やLED安全ライトの装着の励行
- 道路の横断は左右の安全を必ず確認